

(4) これまでの計画推進の成果

本市は、前計画である「松戸市緑の基本計画」に基づき、みどりに関する様々な施策を推進し成果を上げてきました。

特に、「みどりの市民力」による取り組みは、**平成 22 年に松戸市が「緑の都市賞・緑の都市づくり部門」国土交通大臣賞を受賞**したことをはじめ、里やま保全活動、花壇づくり活動、公園の運営などの市民活動についても受賞するなど、全国的にも高く評価されています。

■ 施策の実施状況（主なもの）

取り組み	内容
市民による里やま保全活動	<ul style="list-style-type: none"> 市内の民有林を保全し後世に残すための市民による樹林地の保全活動 19団体、約16.7haで実施（R2.3）
里やまボランティア入門講座	<ul style="list-style-type: none"> 都市のみどりの重要性や樹林地の現状を知ってもらうとともに、樹林地の維持管理に取り組む人材を発掘し、みどりの保全・管理・育成の担い手づくりを推進するために、全5回の講座を開催 H15から毎年開催（R1までに268名の参加） 令和 2 年度「ちば里山アワード」ちば里山大賞（知事賞）受賞
特別緑地保全地区の指定（都市緑地法）	<ul style="list-style-type: none"> 風致又は景観が優れ、かつ地域住民の健全な生活環境を確保するために必要な樹林地などの保全 約5.6haを指定（R2.3）
緑地管理協定の締結・区域内維持管理（都市緑地法）	<ul style="list-style-type: none"> 特別緑地保全地区の土地所有者と市が協定を結び、土地所有者に代わって市が樹林地などの管理を行い、樹林地などを保全（協定期間は20年） 栗山地区：12,119㎡ 矢切地区：3,773㎡（R2.3）
保全樹林地等指定	<ul style="list-style-type: none"> 個人所有の樹林を保全樹林地・特別保全樹林地に指定し、所有者に維持管理費の一部として助成金を支給 保全樹林地地区：353,777㎡ 特別保全樹林地地区：229,220㎡（R2.4）
保護樹木の指定・診断	<ul style="list-style-type: none"> 個人所有の樹木を保護樹木に指定し、所有者に維持管理費の一部として助成金を支給するとともに、診断を実施 保護樹木：133本（R2.4）
オープンフォレスト in 松戸	<ul style="list-style-type: none"> 里やまボランティアによって保全活動が行われている民有林を一定の期間市民に公開する、全国的にもユニークな取り組み（H24～） 来場者数：約 2,100 人（R1） 第 27 回「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰受賞
松戸ふるさと森の会	<ul style="list-style-type: none"> H14に山林所有者により設立 山林の維持管理・植樹、活用、樹林地保全の啓発、調査、研究、関係機関への陳情、他団体との交流に関することなどを実施
公園の再整備	<ul style="list-style-type: none"> 地域公園として 15 公園を選定し、「公園再整備ガイドライン」（H25）に基づき、住民ワークショップなどで意見を反映させた公園の再整備を推進
地域住民による公園等の管理作業への支援	<ul style="list-style-type: none"> 公園等を地元の町会、子供会及び老人会などと管理協定を締結し、公園等の清掃・除草、ごみの処理、公園内施設の破損の市への報告等 117 公園、120 団体（R2.3）
21 世紀の森と広場の整備と利用促進	<ul style="list-style-type: none"> 用地の買収・借地 樹林地や湿地などの残された自然を保全し、自然とのふれあいの場となる維持管理 緑と花のフェスティバルやモリヒロフェスタなどの大型イベントの実施 年間来場者数：606,335 人（R1）
戸定が丘歴史公園拡張整備	<ul style="list-style-type: none"> 旧徳川昭武庭園（戸定邸庭園）が国の名勝に指定されたのを受け、観光資源としてより大きな役割を期待されている戸定が丘歴史公園を拡張整備
根木内歴史公園の整備と管理	<ul style="list-style-type: none"> 根木内歴史公園サポーターの市民活動として、湿地や樹林地の保全活動、観察会、イベントやホームページなどの広報活動を実施 第 27 回「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰受賞
東松戸ゆいの花公園の運営	<ul style="list-style-type: none"> 花の公園としての維持管理とイベントや講座などの企画・運営、公園の情報発信など 公園協議会の設置 年間来場者数：71,189 人（R1）



第 30 回「緑の都市賞・緑の都市づくり部門」国土交通大臣賞受賞 (松戸市)



第 26 回「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰受賞 (松戸花壇づくりネットワーク)

取り組み	内容
街路樹の補植と更新	<ul style="list-style-type: none"> 枯損している街路樹や街路樹診断により危険判定を受けた樹木、植栽されていない街路樹ますに補植を実施 環境適応性などを考慮した上で樹種を選定し、植替え・更新を実施
街路樹の診断	<ul style="list-style-type: none"> 樹木の危険性の判定を、専門知見を持った樹木医により実施
花いっぱい推進事業	<ul style="list-style-type: none"> 公園、道路、河川、こどもの遊び場などを利用し、市と市民の協働により花壇づくりを推進 花の愛護団体数：99 団体 (R2.3)
松戸花壇づくりネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> 活動団体間の交流による課題の共有、花壇づくりに関する情報交換や人的交流の拡大を目的にH17に発足 参加団体数：12団体 (R2.3) 第 26 回「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰受賞
緑と花の拠点の充実	<ul style="list-style-type: none"> 市営金ケ作育苗圃 (約 1.8 ha) のハーブ園、生け垣見本園、野草園、樹木見本園を活用した、ハーブボランティアなどの活動の拠点
みどりの行動会議の運営	<ul style="list-style-type: none"> 松戸みどりの市民憲章のアクションプランを企画・実践するために、「みどりの行動会議」を市民と行政による協働で開催
松戸のみどり再発見ツアー	<ul style="list-style-type: none"> 後世に残したい松戸のみどりを訪ねるオープン参加のツアーを年 4 回程度実施 (企画運営団体：緑のネットワーク・まつど) 第 29 回「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰受賞
(公財) 松戸みどりと花の基金による緑化推進	<ul style="list-style-type: none"> 市民による都市緑化及び緑地保全活動への支援 市との連携による市営金ケ作育苗圃の維持運営管理 緑と花のフェスティバルの開催などを通じた緑化への市民意識の向上
松戸市都市公園整備活用推進委員会の運営	<ul style="list-style-type: none"> 市長の諮問機関として、公園施設の整備及び活用に関する計画策定に関する事項など、都市公園の整備活用について調査審議するために H 30 に設置 第 1 期委員会の答申「21 世紀の森と広場 パークマネジメントプランの基本的方向性」 (R2.11) 市長の諮問機関として、緑の保全及び緑化の推進に関する事項について調査審議するために H 12 に設置 みどりの課題解決のための行動の発案、実践、評価を行い、また次の行動につなげていく、行政と協調した持続性のある活動 任期 (2 年) ごとに提言及び活動報告 第 9 期委員会の答申「緑の基本計画の策定について」 (H30.6)

第 9 期委員会の答申の概要 (特に留意すべき事項)

松戸市緑推進委員会の運営

- 新たな緑の基本計画における「松戸らしさ」や「キャッチフレーズ」
- 本市が高く評価されている「みどりの市民力」
- まちづくりにおける「みどりの役割 (= 貢献)」
- 生活の質 (クオリティ・オブ・ライフ) の向上につながる「ワンランク上のみどり」
- 「みどりと暮らす豊かさ」のロジック確立
- 外から見える松戸市を意識した「みどりのシティプロモーション」

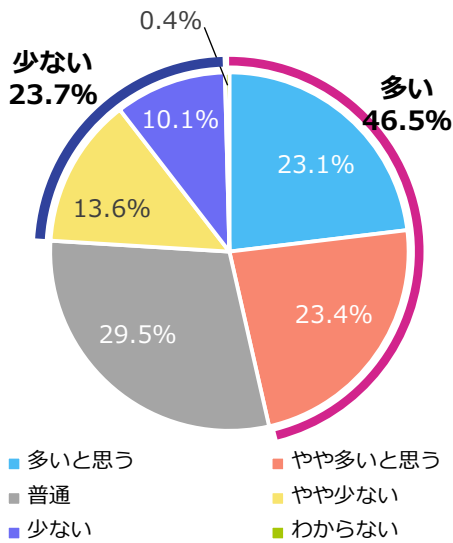
(5) 市民のみどりに対する意識・意向

市民のみどりに対する意識・意向をアンケート調査からみると、みどりの量については「多い」と感じている市民が多いものの、緑地や河川などの自然環境に「満足している」と感じている市民は多くないことがわかります。また、みどりの役割について実感度は低い一方、期待度は高いという状況です。

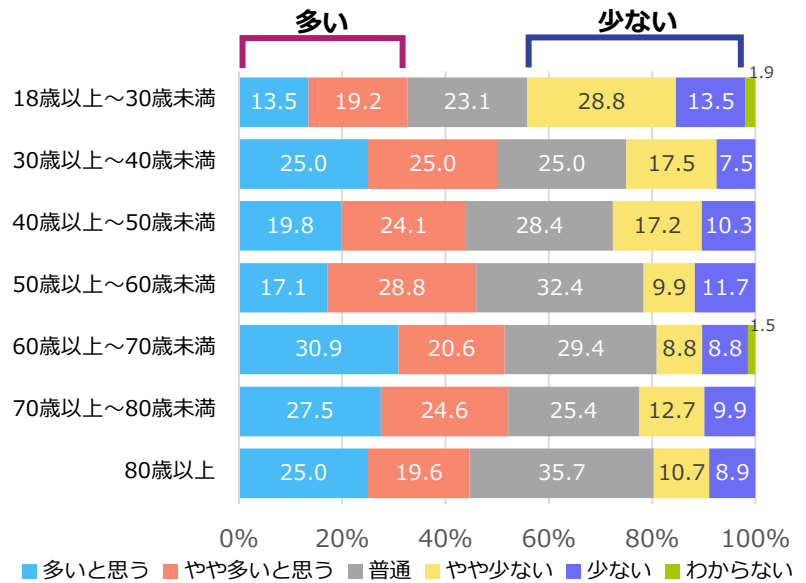
今後の取り組みについては、子どもたちが自然とふれあえる場と機会の確保や、身近な公園のリニューアルや魅力づくりが必要という意見が多くなっています。

住まいの近くに、「みどり」が多いと思う人と少ないと思う人の割合

(出典：H30年度 市民アンケート)



「みどりが多い」と思う回答者は46.5%、「みどりは少ない」と思う回答者は23.7%で、全体的にみどりは多いと感じています。30歳未満の世代は少ないと感じているなど、年代で認識が異なっています。



緑地・河川などの自然環境に満足している人の割合

(出典：H29年度 市民意識調査)

「満足している」は20%前後で大きな変化はありませんが、「不満である」が減少しています。

